

第 18 回 栗東市 中小企業振興会議 主な意見と事務局回答

【報告事項】

(2) 平成 30 年度 栗東市 小規模事業者 持続化補助金の概要について

主な意見	事務局回答
<p>● これまでの実績について、申請件数に対して交付件数が少ないが、交付割合を高めるために窓口において申請書類の作成を手助けすることなどの工夫が必要ではないのか。</p>	<p>■ この申請件数は商工会を通じた国への申請件数となっており、この件数から国で採択されたものに対して市の補助金を交付している。平成 29 年度の国で採択された件数は 32 件となっており、その内 31 件に市の補助金を交付していることから、交付割合はかなり高くなっており、商工会も中小企業者への支援に取り組んでおられる。</p>

(3) 先端設備等の導入による労働生産性の向上について

主な意見	事務局回答
<p>● 国によるものづくり補助金等の審査時の加点対象となり、補助金の優先採択が受けられるとのことだが、具体的にはどのように加点されるのか。また、この制度をどのように周知していくのか。</p>	<p>■ 事業者は、ものづくり補助金の申請の際に、先端設備等導入計画の申請をしていることが条件となり、優先採択されることになる。また、周知については、市のホームページにおいて掲載することや、企業に発送している市広報にチラシを同封するとともに、商工会に協力をいただき、7 月の会員発送に併せてチラシを同封してもらう予定である。</p>

【協議事項】

(2) 栗東市 空き店舗等活用促進事業補助金制度の概要（案）について

主な意見	事務局回答
<p>● 市内の事業者へ施工した改装費等を要件にしているため、実際に工事をする施工業者から周知してもらうことで効果的に広報できるため、工事業者等への周知についても工夫をしてもらいたい。</p>	<p>■ 工事施工業者からも周知してもらえよう検討する。</p>
<p>● 交付する目標値がそれぞれ 10 件となっているが、これまでの空きテナント実態調査を踏まえて達成できる件数なのか。</p>	<p>■ 今年度新たに創設する制度でありどれぐらいの申請があるのかは見込めていないが、申請が少ない場合は、2 次公募、3 次公募を行い活</p>

主な意見	事務局回答
	<p>用してもらえようようにしたい。</p> <p>今回は小売業やサービス業に限定した制度となっており事務所用店舗は対象としていない。まずは2カ年間で今回の制度を運用していき、その結果から出てくる課題等も整理し、事務所用店舗も対象にすることも含めて、次の期間に向けて取り組みを進めていきたい。</p>

(3) 観光客向けのコンテンツ拡充事業の概要（案）について

主な意見	事務局回答
<p>● 当社でも、市外から栗東市内の企業に出張に来られたが宿泊する場合は、守山駅か草津駅周辺のホテルを案内している場合が多いが、外国人に限らず、栗東市内にそのような宿泊施設を整備して市内に宿泊してもらえれば、周辺の飲食店や小売店も利用してもらえることから、経済効果を高めるための解決策となるのではないか。</p> <p>● 最近の訪日外国人観光客のニーズが見学型から体験型に変化してきており、特に名勝がなくても訪日外国人が多く集まっている場所もある。京都市には、既に外国人観光客が溢れており、スペインのバルセロナでも、外国人観光客へのアンケートでは、6割の人が観光客が多く集まりすぎであると感じているとの結果が出ている。栗東市は京都市にも交通アクセスも良いことから、旧東海道にある古い日本家屋に宿泊して地域の生活を楽しんでもらえるような仕組みができれば、多くの可能性があると考えている。外国人観光客への対応には言語の問題があると言われていたが、最近ではスマートフォンの翻訳アプリを相互に利用して会話をしている場合も多くなっており、不便さは解消されてきている。例えば、市内の店舗に翻訳ソフト導入への助成をすることなども考えられるのではないか。</p>	<p>■ 栗東駅前には、民間のビジネスホテルは既に立地しているが、他にも結果としては実現しなかったが、過去にホテル整備の構想もあった。先般、国で住宅宿泊事業法（民泊新法）が施行されており、現状では本市では届出は無いが、宿泊施設が立地することで観光客の増加や交流人口の拡大に繋がるものと考えており、これらの状況も踏まえて対応をしていきたい。</p>